



GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局
宮崎市橋通東3-1-22
宮崎合同庁舎
TEL0985(38)8821
FAX0985(38)5028

ゆう活を要請



待キさあ、帰るう。
っラあ、めく夕方が
てめく夕方が



宮崎県商工会連合会の奥野専務理事（右）へ要請する吉田局長（左）（6月27日）



- * 暑さ指数を測りましょう。
- * 暑さ指数に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。
- * 水分、塩分を積極的に取りましょう。
- * 少しでも異常を認めたときは、すぐに病院に運ぶか救急車を呼びましょう。

6月27日から29日にかけて宮崎労働局は「働き方改革」と「ゆう活」について団体要請を行いました。

要請先は、宮崎県経営者協会、宮崎県商工会議所連合会、宮崎県中小企業団体中央会、宮崎県商工会連合

会、宮崎県中小企業家同友会、宮崎県工業会及び日本労働組合総連合会宮崎県連合会（連合宮崎）の7団体でした。

吉田局長は「一斉に取り組むのは難しいと思うので、各企業の実情に応じてまずは“1日”または“この

週”と少しずつ取り組んでもらうことで意識改革、ひいては働き方改革につなげてほしい」と述べました。要請先からは「労働者が働きやすい環境を整備したり、労働条件を向上させて人材を集めていきたい」と積極的に取り組みたいとの意見が寄せられました。

「働き方」が変わります!

「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が成立し、7月6日に公布されました。

宮崎労働局では、今後、その内容や取組方法などについて、あらゆる機会を通じて周知していきます。

1,584名の高校生が参加

平成30年度応募前ジュニアワークフェア開く 企業からも221社



担当者の説明を熱心に聞く高校生



県内の企業に目を向けてもらうことや、より深い職業理解を促すことにより、県内就職の促進や早期離職を防止することを目的としたイベントです。

生徒にとっては、県内企業の魅力を発

宮崎県の林業の



講義する川原主任安全専門官

労働災害をなくそう

7月5日、宮崎県林業労働災害防止大会が新富町で開催され788人が参加しました。健康安全課の川原主任安全専門官が講師として「昨年、宮崎県は林業死亡災害件数が全国ワースト1位で、その大半が類似災害でした」と訴え、安全作業を確実にを行うよう呼びかけました。

宮崎労働局は、7月9日、シーガイアコンベンションセンターを皮切りに来春高校卒業予定者を対象とした応募前ジュニアワークフェアを開催しました。当会場（県央地区）の他、延岡・小林・都城の計4会場で開催し、1,584名の高校生と宮崎県内企業221社が参加しました。

このフェアは、高卒求人が公開となる7月の早い段階で魅力ある宮崎

見し、進路の選択肢についてリアルな情報を得る機会となりました。一方、企業にとっては将来の中核を担う若い人材を確保するためのアピールの場となりました。高校生に分かりやすく見せる工夫を随所に交え、担当者が熱のこもった説明を行っていました。



安全衛生に係る
宮崎労働局長表彰

受彰おめでとう
ございます

優良賞 ①富士フィルムワコーケミカル(株)本社・宮崎工場②日本梱包運輸倉庫(株)都城(営)③(株)熊谷組・飛鳥建設(株)・(株)志多組共同企業体西郷ダム作業所
奨励賞 ④旭化成テクノシステム(株)延岡事業所⑤(有)ぎょうざの丸岡⑥ピーエス三菱・山崎・戸敷特定建設工事共同企業体昭和通線新橋設置工事
功績賞①島田雅弘氏 安全衛生推進賞②安在孝夫氏③落合真蔵氏

表彰状を授与された皆さんと吉田局長(前列中央)



宮崎労働局長表彰優良賞を受彰された富士フィルムの田村社長(右)

7月2日、安全衛生に係る宮崎労働局長表彰式を宮崎労働災害防止関係団体の支部長御臨席のもと、宮崎市で開催いたしました。功績のあった6つの団体と個人3名(右表)に対して、宮崎労働局長から表彰状が

授与されました。吉田局長から各受賞者に対して「これまで長年、皆様方が労働安全衛生の水準向上させるために、積極的に取り組んでこられたこと

に感謝申し上げます。今後も地域や同業種事業場の模範となられるよう期待しています」との言葉を贈りました。

企業トップへ働きかけ

働き方改革
職場訪問

株式会社 ミヤチク
学校法人 大淀学園

県内企業の「働き方改革」を推進するため、吉田局長が6月26日に株式会社ミヤチク、7月6日に学校法人大淀学園を訪問し取組状況をお聴きました。

ミヤチクの有馬代表取締役社長は、「超過勤務の状況を確認し必要な業務の見直しを常に検討しています。また、女性従業員も多いので、常に数人が育児休業を取得しています。その結果辞めずに復帰してもらい生

くるみん認定 新たに2社

子育てサポート企業

右から
事務局長
丸山
中野氏
河野氏
藤元
吉田
局長



7月4日、宮崎労働局において、「くるみん認定」の認定書交付式を実施しました。認定を受けたのは、都城市の医療法人社団静雄会藤元上町病院と宮崎市のAKMテクノロジーです。両社とも育児や介護と仕事を

両立させるための規則や資料を整備し、各種制度の取得しやすい職場環境づくりに取り組んだことが評価されての認定になりました。吉田局長が認定書を交付した後、それぞれの会社から取組事例の報告を頂き、意見交換を行いました。「くるみん認定」企業は、今回の2社を加えて、合計29社となりました。宮崎労働局では、今後とも両立支援に積極的に取り組む企業を応援していきます。

産性を上げているんです」。大淀学園の満森理事事務局長は、「年次有給休暇の取得は、学校が休みになる夏季や冬季にまとめて休暇を設定する等を検討しています。また、育児休業については代替要員を確保し、取得しやすい状況を整備しています」とのこと。吉田局長は今後よりいっそう取

り組んでいただくよう要請しました。

有馬社長(左)に要請



満森理事事務局長(左)に要請

